


自殺予防教育プログラム実施報告書

学校名	北海道南茅部高等学校
-----	------------

(1) 教職員間の共通理解を図る研修等の実施

研修等の実施日	令和5年(2023年)6月5日(月)・8月30日(水)	研修参加人数	12人
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を対象とした「アセス」を実施する意義及び目的について ・「アセス」の結果の見方・考え方について ・「アセス」の結果のアセスメントについて ・「アセス」の結果を生かした共感的な生徒指導の在り方について 		
研修に参加した教職員の声	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の傾向や個人の特性について、全体で共通認識をもつことができた。 ・授業等における特別な支援を必要とする生徒の状況等がデータとして把握できたため、授業中にサポートをしやすくなった。 		
研修等で使用した資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒を対象に実施した「アセス」の結果(令和5年5月・8月実施) 		

(2) 「自殺予防教育プログラム」の実施

	実施状況（主な実施内容、アセスメントツール等による生徒の変容、生徒の感想等）
A 援助希求的 態度の 育成	<p>○ 実践の概要</p> <p>「スクールカウンセラーによる心理教育」（年間8回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的：コミュニケーションスキルを向上させ、自分の気持ちを適切に表現しながら意思疎通できるようになる。 ・対象学年：1年 ・実践者：北海道公立学校スクールカウンセラー ・指導内容：クラスやクラスメイトのいいところ探し クラス・スケーリング コミュニケーションの基本 話し上手・聞き上手になるためのコツ
	 <p>【写真】教室での心理教育の授業の様子</p>
	<p>○ 生徒の変容を促す工夫（授業における工夫、他教科等との関連、事前・事後指導、外部人材の活用など）</p> <p>本授業において、発表する場面やグループワークをする場面を多く設定することにより、自分の気持ちが相手に伝わるように、適切な手段で表現する練習を取り入れた。また、生徒は、相手の考えを聞く際には発言等を「否定しない」こと、共感的であることを意識することにより、授業全体において、生徒が発言しやすい雰囲気作りをすることができた。</p>
	<p>○ 生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツール「心と身体のチェックリスト」における「悩みを話せる友人がいない」という項目で数値の改善がみられた。 ・教室内において、生徒同士の声掛けや会話の機会が増えた。 <p>○ 生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラスやクラスメイトの良いところに注目できるようになった。」 ・「周りの人に話しかけやすくなった。」 ・「話し上手・聞き上手になるためのコツを意識しながらコミュニケーションを取りたいと思うようになった。」

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">B 早期の問題認識 (心の健康)</p>	<p>○ 実践の概要 「組織的な教育相談」(年間3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的：生徒の学校生活・家庭生活等の状況について把握し、安定した気持ちで学校生活を送ることができるように支援する。また、生徒が自己理解を深める機会とし、個々の目標に向かって主体的に取り組む下地をつくる。 ・ 対象学年：全校生徒 ・ 実践者：本校全教職員 <p>○ 生徒の変容を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話したい・話してみたい教員を生徒自身に選択させることにより、生徒が希望するような相談しやすい環境づくりを心がけた。 ・ 教職員において、面談前に「アセス」やアセスメントツール「ほっと」及び「心と身体のチェックリスト」等の結果を共有することにより、それぞれの面談担当教員が生徒への理解を十分に深めてから面談を実施することができた。 <p>○ 生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒自身が困っているときに、担任以外の教員にも相談したり、頼ったりすることができるなど、希求的行動ができる生徒が増えた。 ・ 生徒の中には、教員の助言を受けて、自身の目標に向けた行動の改善を図る様子がみられた。 <p>○ 生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「先生との距離が縮まり、普段から話しかけやすくなった。」 ・ 「悩みを放っておくのではなく、どうにかしようと思うようになった。」
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">C ストレス対処能力の育成</p>	<p>○ 実践の概要 「エゴグラム(性格診断テスト)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的：自己理解と他者理解を深める。 ・ 対象学年：1学年 ・ 実践者：スクールカウンセラー <p>○ 生徒の変容を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が、自分自身のことをより理解しやすくするために、ワークシートを活用した。 ・ 生徒に対しては、事前に「エゴグラムの結果などには良い悪いということはなく、それぞれの個性や特性をとらえていくものである」ということについて十分説明した。 ・ 単に結果を生徒に返却するのではなく、スクールカウンセラーが生徒の長所や、伸ばしていきたい部分に注目してコメントしながら、結果をアセスメントした。 <p>○ 生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒は、自分の個性や特性を知ることにより、自己理解を深めることができた。 ・ 診断結果の5つの傾向について、生徒は、自分自身がどこに当てはまるかを挙手し、クラスメイトがどのように思うかについて意見交換した。また、意見交換した結果について、全体で発表を行い、クラスメイトの思考について学ぶことを通して、他者理解を深めることができた。 <p>○ 生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自分について、より深く知ることができた。」 ・ 「エゴグラムの結果により、自分にとって苦手なことが明確になったので、今後はその部分を伸ばしていきたい。」



【写真】教育相談の様子